

ICANN72 ccNSO関連報告

第62回ICANN報告会
2021年12月14日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）
 - 正式名称：
Country Code Names Supporting Organisation
 - ICANNにおける位置づけ
 - ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
 - ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。
 - 会員数：172（世界にある250ccTLDのうち）

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

※ 本日は、以下の中から①～③の3点についてご報告します。

10月26日(火)	Q&A with ccNSO Council candidates: ① ccNSO Governance Session: ②
10月27日(水)	ccNSO DNS Abuse Session: ③
10月28日(木)	ccNSO Council Meeting Joint Session: ICANN Board and ccNSO

① Q&A with ccNSO Council candidates

• 概要

- 2022年3月に任期満了となる、各地域選出のccNSO評議委員の改選に向け、立候補との質疑応答を実施
- AP地域のみ、2名が立候補

地域	現	今回の立候補者
北米(NA)地域	Pablo Rodriguez (.pr)	Pablo Rodriguez (.pr)
ラテンアメリカ&カリブ(LAC)地域	Demi Getschko (.br)	Demi Getschko (.br)
アジア太平洋(AP)地域	Jordan Carter(.nz)	Jordan Carter(.nz) Anil Kumar Jain(.in)
ヨーロッパ(EU)地域	Nick-Wenban Smith (.uk)	Nick-Wenban Smith (.uk)
アフリカ(AF)地域	Biyi Oladipo (.na)	Biyi Oladipo (.na)

• ICANN72以降の動き

- AP地域のみ、選挙が実施され、Jordan Carter氏が再選

② Governance Session (1/2)

• 背景

- ccNSO運営関連のガイドラインを見直すGuideline Review Committee (GRC)が、ccNSO発足時に制定されたccNSOの運営ルールを、2021年現在の実情に即した形へ見直す必要性を認識
 - 会員数は、ccNSO発足時は30（2004年3月）であったが、現在は172に増加
- GRC下にサブグループを設置し、運営ルール改定案を作成中（※JPRSから遠藤淳が参加）
 - ICANN71では、運営ルールの見直し方針を会員に照会
 - 以降も、Webinarやメーリングリストを通じてccNSO会員の意見を取り入れながら、改定案を作成

② Governance Session (2/2)

• ICANN72での動き

- 現行ルールからの変更点を中心に説明を行い、ccNSO会員に対する改定案への意見照会を実施
- 会員投票において、定足数(総会員の50%以上から33%以上に改定案で引き下げ)を満たさなかった場合の対応として、以下3つの案が提示され、(3)が最も支持を集めた
 - (1) 会員が意思決定を棄権したとみなし、現状を維持
 - (2) 14日後以降に2回目の投票を実施。
投票数にかかわらず、2回目の投票結果を有効とする。
 - (3) 14日後以降に2回目の投票を実施。投票数が、定足数(33%以上)を満たした場合のみ投票結果を有効とする。
定足を満たさない場合は、会員が意思決定を棄権したものと見なす。(現状を維持するものとする)

③ DNS Abuse Session (1/2)

• 背景

- DNS Abuseに関する議論がICANNコミュニティ内外で活性化している状況を受け「ccNSOがDNS Abuseに関してすべきことは何か」というテーマにフォーカスした議論を実施

• 概要

- 前半(90分)

- ICANN Org、GAC、GNSO(gTLDレジストリ/レジストラ)、ccTLDレジストリなどから6名のパネリストがテーマについて各自の意見を個人のアイデアとして紹介

- 後半(60分)

- 前半に出たアイデアから15個を選出し、聴衆に対し支持の程度の温度感を確認(Zoomの投票機能を利用)
 - 投票は、セッション参加者(約100名中、ccTLDレジストリからの参加は2割程度)であれば誰でも可能
 - ICANN職員やgTLDレジストリ/レジストラなど、様々なSO/ACメンバが投票に参加

③ DNS Abuse Session (2/2)

- 投票の結果
 - 以下のような活動への支持が多くみられた
 - DNS Abuseの議論の前提となる、ccNSOの構造や成り立ち、ccTLDとICANNの関係について、他コミュニティの理解を得る
 - ccNSOが、DNS Abuseに関連する個々のccTLDの取り組みや情報を共有する場や機会を設け、ccTLD同士で連携できるようにする
- 今後の予定
 - 今回の結果も参考にしつつ、ccNSO評議委員会にて継続議論